

対象機器：住宅・オフィスなど負荷機器の直前に設置される配線用遮断器，漏電遮断器など

■背景及び課題

- ・IEC規格の改正が、JISにダイレクトに影響
- ・日本製品にない欧州製品の特性の規格導入活動が顕著
- ・直流回路専用の漏電遮断器、配線用遮断器の規格開発を実施中。
- ・電気自動車充電用の充電システムの内、モード2のケーブルの規格開発を開始。

■活動方針

1. 規格審議組織への継続的な参加と、国内での情報共有に務める。
2. 日本の配電事情を考慮した基準となるよう提案を行う。
3. 日本製品の特性も含まれる規格となるよう提案を行う。

■成果

1. 日本製品の仕様を一部を含める規格案とした。
2. 直流回路用の規格開発開始の情報を入手、国内展開実施。

■今後の予定

1. 日本の配電事情でも受け入れられる規定となるよう提案していく。
2. 規格審議組織への継続参加



◆ 住宅用等小形の遮断器の一例
(三菱電機殿Webより)



◆ EV車用充電ケーブル一例
(パナソニック殿Webより)